



2022年7月29日

各位

会社名：株式会社バガコーポレーション
代表者名：代表取締役社長 浮城 智和
(コード：3542 東証グロース)
問合せ先：取締役経営管理本部長 河端 一宏
(TEL：092-281-3501)

株式給付信託（J-ESOP）への追加拠出に伴う 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、2022年7月29日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 発行の概要

| | |
|-------------------|---|
| (1) 処分期日 | 2022年8月15日(月) |
| (2) 処分する株式の種類および数 | 当社普通株式 27,000株 |
| (3) 処分価額 | 1株につき 525円 |
| (4) 処分総額 | 14,175,000円 |
| (5) 処分予定先 | 株式会社日本カストディ銀行(信託E口) |
| (6) その他 | 本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。 |

2. 処分の目的および理由

当社は、2017年11月30日開催の取締役会の決議に基づき、「株式給付信託（J-ESOP）」（以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「本信託」といいます。）を導入しております。（本制度の概要につきましては、2017年11月30日付「株式給付信託（J-ESOP）の導入に関するお知らせ」をご参照下さい。）。

今般、当社は、本制度の継続に当たり、将来の給付に必要と見込まれる株式を本信託が取得するため、本信託に対する金銭の追加拠出（以下、「追加信託」といいます。）を行うこと、および本制度の運営に当たって当社株式の保有および処分を行うため株式会社日本カストディ銀行（本信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者）に設定されている信託E口に対し、第三者割当により自己株式を処分すること（本自己株式処分）を決定いたしました。

処分数量については、「株式給付規程」に基づき信託期間中に当社の従業員に給付すると見込まれる株式数に相当するものであり、2022年3月31日現在の発行済株式総数10,634,200株に対し0.25%（2022年3月31日現在の総議決権個数106,301個に対する割合0.25%（いずれも小数点第3位を四捨五入））となります。

※追加信託の概要

追加信託日 2022年8月15日(予定)

追加信託金額 14,175,000円(予定)

取得する株式の種類 当社普通株式

取得株式数 27,000株

株式の取得日 2022年8月15日(予定)

株式取得方法 当社の自己株式処分(本自己株式処分)を引き受ける方法により取得

3. 処分価額の算定根拠およびその具体的内容

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日までの1か月間(2022年6月29日から2022年7月28日まで)の東京証券取引所における当社普通株式の終値平均である525円(円未満切捨)といたしました。

取締役会決議日の直前営業日までの1か月間の終値平均を基準としたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためです。また、算定期間を直近1か月としたのは、直近3か月、直近6か月と比較して、直近のマーケットプライスに最も近い一定期間を採用することが合理的であると判断したためです。

なお処分価額525円については、取締役会決議日の直前営業日の終値に対して96.33%を乗じた額であり、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近3か月間の終値平均565円(円未満切捨)に対して92.92%を乗じた額であり、さらに同直近6か月間の終値平均630円(円未満切捨)に対して83.33%を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえず、合理的なものと判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、監査等委員会が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手および株主の意思確認手続は要しません。

以上